

I 実践

1 本校の人権教育の目標

(1) 経営方針

ア 人権に対する理解と認識を高め、各教科、道徳、特別活動など学校生活全体の中で、人間的なふれあいを通しての平等や人権尊重の精神の育成を目指す。

イ 地域、学校及び生徒の実態を把握して人間関係の改善を図り、言語環境を整えることで意欲的に生活や学習できる集団づくりを目指す。

(2) 施策

ア 全職員の共通理解の下に指導体制を確立する。

イ 生徒の実態や悩みなどを日記指導・教育相談や日々の観察等を通して的確に把握し、個に応じた指導をする。

ウ 職場体験学習・文化祭など各種行事や活動を通して、感謝の心や思いやりの心を育てる。

エ 授業参観、保護者会、家庭訪問、学年通信等を通して、保護者への理解・啓発を促す。

2 実践内容

(1) 主題名 「人を区別する普通って何」

(2) 題材設定の理由 (男子 20 人 女 17 人 計 37 人)

社会的に弱い立場におかれがちな人が胸を張れない状況にある社会、その中で生活する子どもたちは、「お互いの違いを認める」「お互いを尊重し受け入れる」などといった価値と共に育っていない面もあり、人間を「強い」・「弱い」、「優」・「劣」などといった、単一的な価値基準で判断しがちである。これらは人間の尊厳についての平等に反しており、社会的に弱い立場におかれがちな人を排除し、差別を正当化する考えに通ずるものである。

本学級の生徒は、男女の区別なく、仲良く活動することができる。その一方で、友人をからかってみたり、冗談で心ない言葉を発したりしてトラブルになることもある。

本授業では、新聞の投稿欄の記事を読み物教材として用いることによって、障がいのある子の母親の思いや痛みを自分のこととしてとらえさせたい。また、「普通の人」から成り立つ「普通の社会」といった固定した考えから抜け出し、お互いの違いを認め、友人の心の痛みに思いをめぐらせ、そして、その思いを語り合える学級集団づくりの一助になればと考え、本主題を設定した。

(3) 学習計画

	月／日	活動の場面	活動の主体	活動内容	支援と指導上の留意点
事前の指導	11／21	短学活	個別	実態調査の実施	・学校生活や友達関係について日頃考えたり、感じていたりしていることを素直に答えられるように助言する。
本時	11／28	学級活動	学級全体	「人を区別する普通って何」について話し合う。	・ワークシートを使い差別や偏見のない社会の実現をめざす意識を高められるようにする。

(4) 本時の指導

- ア ねらい
- ・我が子を「普通じゃない」と言われた母親の思いから、その心の痛み思いをめぐらせ、もし自分が「普通じゃない」と言われたときのことを考える。
 - ・友達の意見・感想を聞き、その意見・感想に対しての自分の考えを持つ。
 - ・自分の日頃の生活が、お互いを尊重し受け入れるという考え方に立っているかどうか、自らの有り様を考える。
- イ 準備・資料
- ・読み物資料「人を区別する普通って何」、ワークシート

活動と内容	支援と指導上の留意点
<p>1 本時の内容を確認する。</p> <p>○「普通の人」のイメージを考える。</p> <p>2 資料を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">人を区別する普通って何だろうか。</div> <p>3 母親の気持ちを考える。</p> <p>○ワークシートに個人で記入する。</p> <p>○意見をグループごと交換し、発表する。</p> <p>4 自分の姿・身体的特徴・障がいの状態を見て、「普通じゃない」と言われたらどんな気持ちになるか考える。</p> <p>○ワークシートに個人で記入する。</p> <p>○自分の気持ちを発表する。</p> <p>5 授業の感想を書く。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>・自分の思っているイメージを記入するよう助言する。</p> <p>・場面が思い浮かぶように補足する。</p> <p>・印象に残った部分には線を引かせる。</p> <p>・個別に意見をまとめさせることで、内省を深める。</p> <p>・なかなか意見がまとめられない生徒には友達の意見を参考にしてもよいことを伝える。</p> <p>・挙手がないときには、何人か指名して発表する。</p> <p>・全員が記入できるようワークシートに記入する時間を十分にとる。</p> <p>・生徒の意見に対する教師の感想や自身の体験を語る。</p>

3 授業の考察

読み物資料は新聞の投稿欄に掲載されたもので、私たちが日頃気づかないような視点であり、「普通」という言葉は普段からよく考えずに気軽に使っている言葉であったので、ワークシートに自分の意見を意欲的に書き込む姿が見られた。またグループでの話し合いの場面でも、進んで自分の意見を発表する姿が見られた。

II 今後の課題

道徳の授業でも様々な題材を取り上げ、人間の多様性を認め、それぞれの思いを深く受け止め、自分のこととして考えることによって、それぞれが尊敬し合えるような仲間としての関係を築けるような授業展開を実践していきたい。